

## 平成 25 年度 いきいき健康プランにっしん 21 第 2 回推進委員会議事要旨

日時：平成 25 年 12 月 17 日 月曜日 午後 2 時から午後 3 時 30 分

会場：日進市保健センター 西館

出席者：＜委員＞

大澤功委員長（愛知学院大学心身科学部健康科学科 教授）、早川真人副委員長（東名古屋医師会 日進支部代表者 医師）、塚本有里（前日進市教育委員）、中井英貴（愛豊歯科医師会 日進支部代表者 歯科医師）、藤原薫（日進市薬剤師会 代表者 薬剤師）、波多野了（荒川工業株式会社 代表者）、亀井千代子（日進市食生活改善推進委員会 代表者）、齋藤信子（日進市運動普及推進員 代表者）、深津いさ子（日進市スポーツ推進委員 代表者）、鈴村義尊（日進市老人クラブ連合会 代表者）、小室勢子（日進市立日進中学校 養護教諭）、鶴飼佳代子（愛知県瀬戸保健所 健康支援課長）、桑山一男（尾三消防本部日進消防署 予防課長）、林輝夫（市民代表）、秋田ゆかり（市民代表）、伊藤日奈子（市民代表）

＜その他＞

次期計画策定業務委託業者 アシスト株式会社 宮澤史明（名古屋営業部）、水谷宏子（名古屋営業部）

＜事務局＞

梅村光俊（市民生活部担当部長）、小塚多佳子（健康課主幹）、伊東あゆみ（健康課保健企画係・母子保健係課長補佐）、稲吉新平（健康課保健企画係長）、柳原裕美（健康課保健企画係管理栄養専門員）、近野友美（健康課保健企画係主査）、佐々木真梨江（健康課保健企画係保健師）

欠席者：＜委員＞

大野忠夫（日進市ボランティア連絡協議会 代表者）

（順不同）

傍聴の可否：可

傍聴の有無：有（3名）

＜議事＞

事務局：開会のあいさつ及び、傍聴者の確認（傍聴者 3名）

出席者について説明。それでは、次第により進めさせていただきます。はじめに担当部長の挨拶をお願いします。

担当部長：あいさつ

委員長：あいさつ

事務局：次に議題に入ります。議題の進行につきましては、いきいき健康プランにっしん

21の推進に関する規則により大澤委員長にお願いします。

委員長：議題1「第2次計画案について」事務局から説明をお願いします。

事務局：第1章・2章前半説明（資料に沿って説明）

第2章後半説明（資料に沿って説明）

第3章説明（資料に沿って説明）

委員長：ここまでで、ご意見、ご感想、ご質問等お聞きしたいと思います。

委員：59頁(3)のライフステージ別についてです。総花的な世代ではなく、医療費の軽減は60歳代以上が深く関わっていると思いますので、特に日進市は30代、40代が多く、その市民が30年後に高齢者になった時を考え、今から60歳代以上のウエイトを高めて対策をとっていかないと医療費の削減または軽減ができないと思います。

事務局：対象者に合った対策でないと効果が上がりませんので、どの層をターゲットにどのような対策ができるのかを、今後の具体策で考えていきたいと思います。

委員長：医療費の話がありましたが、日進市としては医療費を減らしたいということでしょうか。人口増加や高齢化に伴い自然に増えていくと思うのですが。

事務局：平均寿命が長く、県下男性1位女性2位を占めていますが、高齢化が進んでおり、医療費も増加している状況です。日進市も財源に限りがありますので、医療費の軽減への施策も展開していく必要があると考えています。

委員長：医療機関にかからなくても済むような仕組みとして、生活習慣を整えることができるような、人と人とのつながりを持ち、相談できるネットワークをつくるなど、市民参加を推進することが大切であると思っております。医師会の先生はどうでしょうか。

委員：日本は、一定の医療が受けられるという医療保険制度を確立し、その制度の中で医療を行っています。生活習慣の改善も医者の仕事だと思いますが、遺伝的要因の場合、生活習慣を見直しても治らないことがあります、これは治療するしかありません。また、ワクチン接種などの予防に費用を使うことによって、医療費を削減することが可能という事例がありますが、予防医学というものがまだまだ浸透していないのが現状です。日進市は高齢者肺炎球菌ワクチンの助成を早い時期から始めており、良い取り組みだと思います。

委員：52頁の健康寿命についてですが、平均寿命が延びるほど健康寿命が延びるのが普通だと思います。日進市の健康寿命と他市町データとの比較が分かれば教えてください。

事務局：平均寿命は市町村レベルでの数値で明確に出ておりますが、健康寿命は、県のレベルでの公表となっております。県では、愛知県が全国で1番長いという結果になっております。健康寿命はいろんな要因から計算することになっており、人口が多ければ算出できますが、日進市の人口レベルでは難しく正確な数値が出ない状況

です。日進市も試算してみましたが、平均寿命に近い数値となり、その数値が正確な数値ではない可能性が高いということを考え、計画書には載せておりません。

委員：やはり、病院にはかからず長生きするのが一番であり、個人個人の健康意識を高めることが必要かと思えます。健康の線引きというはっきりしたものは難しいかと思えますが、健康寿命のような数値はいいと思えます。

委員長：健康寿命と平均寿命の差が 52 頁に記載されていますが、10 年以上が寝たきりなど不健康な期間になっております。介護で困っている方はいらっしゃいますので、平均寿命と健康寿命の差が縮まるような健康づくりを進めていくことは、基本的な考え方として賛成です。ライフステージ別の健康課題がありますから、若い世代と高齢者世代がコミュニケーションを図って良い健康づくりの街ができればと思います。

事務局：医療費については、適切な医療機関へのかかり方が大事であると思えます。例えば、高血圧の方であれば、早く病院にかかり、きちんと管理をすることで、脳卒中等に繋がらずにすみます。遺伝的な要因等がありますが、早期にきちんと医療にかかって管理をすることが大切であり、病院にかからないのではなく、適切に医療にかかっていただくことが重要だと考えています。

委員長：医療費については、これからも課題になっていきます。健康を求める時に、完璧な健康を求めすぎているのではないかと思えます。避けられない病気もありますので、病気や障害を持ちながらも、いかに幸せに生きるか、幸せなコミュニティーをつくるかといった方が重要ではないかと思っております。先ほどの健康寿命については、その概念は重要ですが、一人歩きしないほうがいいかと思えます。他に何かありますか。

委員：私は、スポーツ指導をしております。先生が言われるように元気だからといって医療にかからないということはありません。高齢になると、呼吸法と歩くことが一番大事だと思います。また、コミュニティーの話だと、昔は近所同士のお付き合いもありましたが、最近は、集まりや役などの負担により、それらを避ける方もいらっしゃいます。隣近所との付き合い方について、何かできないかと考えているのですが、どうしたらできるかを皆さんも考えていただければと思います。

事務局：第 4 章の計画の推進のところと概要版にも記載していますが、「健康を支える社会環境を実現しよう」を基本方針 3 にあげております。人と人とのつながりや市民が共に支えあうことを入れております。第 4 章で説明をさせていきたいと思えます。

委員長：それでは少し体を動かしましょう。

事務局：にしん体操の新しいバージョンとして、解説音声入りができました。広報 12 月号でお知らせしています。

～にしん体操（いすバージョン）の実施～

委員長：ありがとうございます。では続きに進みます。

事務局：第4～5章説明（資料に沿って説明）

委員の皆様には少ない時間でご意見をいただいております。意見の追加や、後日気が付いた点等がありましたら、お手元のFAX連絡票にて、12月24日までにご連絡いただければと思います。

委員長：「健康を支える社会環境を実現しよう」というところですが、医学的に言っても、社会環境についてどれだけ日進市が実現していくかによって、市民の幸福度が変わってくるのではないかと思います。それぞれの立場の視点からご意見をいただきたいと思います。

確認ですが、「個人・家庭」の取り組みの「何々します」という語尾の書き方は、オリジナルなのでしょうか。

事務局：他市町の計画書を見ましたが、いろいろな書き方があります。日進市は「します」という書き方にしています。

委員長：個人的な意見ですが、個人・家庭の取り組みは、「します」という厳しい表現になっているのに対して、行政の語尾が「努めます」になっています。バランスが悪いのではないかと感じました。

事務局：検討し、見直します。

委員：お知らせですが、医師会の活動として、毎年実施している講演会を来年の2月に開催します。今回は、「平穏死」をテーマに長久手市で行います。

委員：「いきいき健康プランにつしん21」の「プラン」という言葉についてです。中間評価時にも話をしたのですが、「プラン」というのは言葉としてどうなのでしょう。「いきいき健康につしん21（第2次）」という方がよいと思います。

事務局：この計画を決めるための規則や要綱など、この「プラン」という言葉を使用しておりますので、変更は難しいと思いますが、検討させていただきます。

委員：ネットワーク研究会についてですが、30代、40代、50代の本当に必要な人に出てもらうために、メール会員を募ってはいかがでしょうか。メールだといろいろと意見をもらえるのではないのでしょうか。

事務局：検討していきたいと思います。

委員長：続いて、議題2「策定スケジュール案について」お願いします。

事務局：スケジュール案について説明（資料に沿って説明）

委員長：平成25年度いきいき健康プランにつしん21第2回推進員会を終了いたします。

（午後3時30分終了）